

# 清瀬市「保・幼・小接続カリキュラム」

## 「保・幼・小接続カリキュラム」とは

「保・幼・小接続カリキュラム」とは、小学校に入学したばかりの児童が、授業中に座っていられなかったり、集団行動がとれなかったりといった「小1プロブレム」を解消するため、接続期（本市では幼児期の10月から小学校第1学年5月まで）の子供の成長と学びの連続性の基盤をまとめたものです。

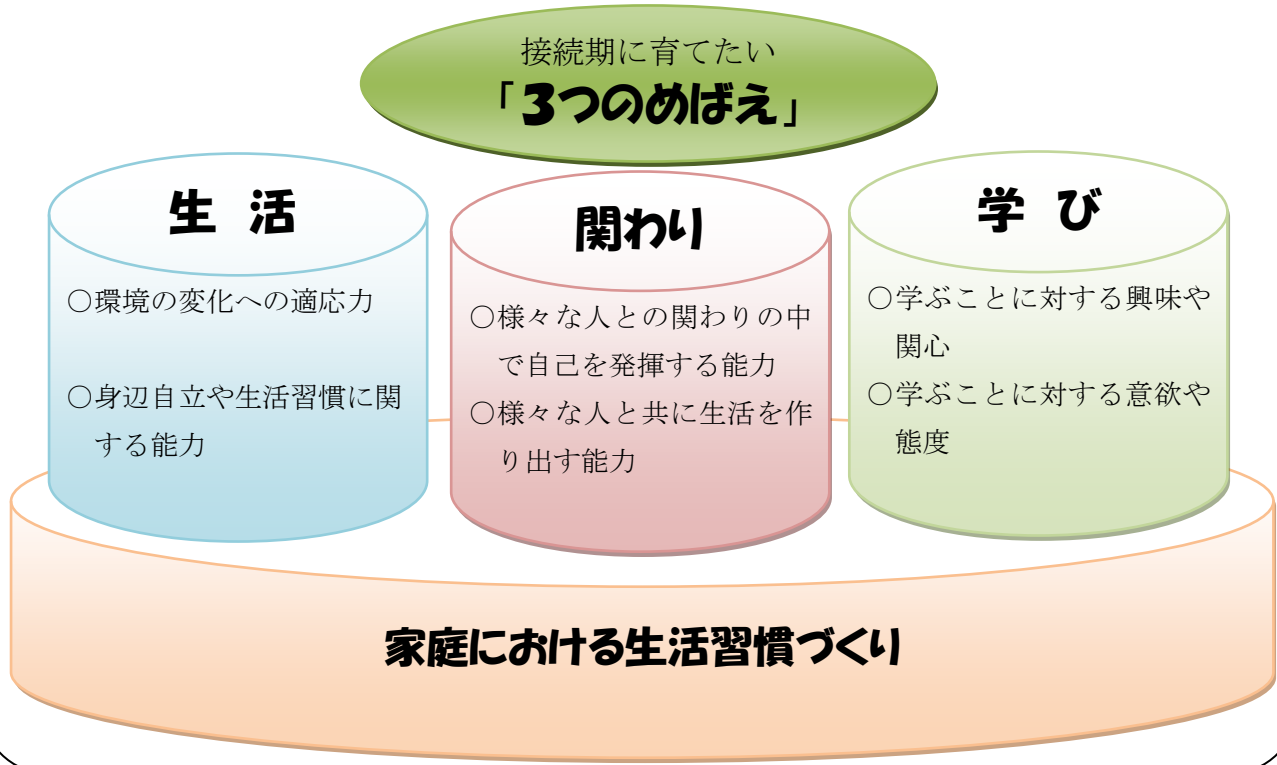
幼児期の保育・教育では、幼児の自発的な活動としての「遊び」を通して、様々な体験や学びの芽生えを積み重ねることができるよう、保育者が環境を構成し、一人一人に応じた総合的な保育・教育活動を行います。また、小学校では、幼児期の「遊び」を中心とした総合的な教育と異なり、各教科の内容を教科書等の教材を用いて、教員が意図的・計画的な教育活動を進めていきます。

この学ばせ方・学び方の違いから「小1プロブレム」の原因となる段差が生じやすくなっています。

そこで、接続期の教育は、単なる準備期間として捉えるのではなく、保育園・幼稚園・小学校のそれぞれが互いの子供の発達段階や指導内容・方法などを理解し、協働して取り組むことが重要です。

本カリキュラムに基づき、それぞれの保育園・幼稚園・小学校で子供・家庭・地域の実態に即したカリキュラムを編成し、円滑な接続期の教育を子供たちが受けられるよう活用をお願いします。

## 「保・幼・小接続カリキュラム」の視点



平成27年3月  
清瀬市教育委員会

## 「保・幼・小接続カリキュラム」の活用に向けて

### ①保育園・幼稚園から小学校への就学前の保育・教育の内容や方法を見直すための資料として

- ・幼児期の保育・教育を小学校に滑らかに接続するために作成するカリキュラムを「アプローチカリキュラム」といいます。
- ・幼児期の生活や経験が小学校でどのような生活や学習につながっているのか見通すための資料として活用してください。

### ②小学校入学直後の教育の内容や方法を見直すための資料として

- ・小学校入学当初の子供たちが小学校の生活や学習に適応できるようにするために作成するカリキュラムを「スタートカリキュラム」といいます。
- ・幼児期のどのような生活や経験が小学校の生活や学習の土台となっているのか確かめるための資料として活用してください。

### ③保・幼・小の教職員及び家庭との連携資料として

- ・保・幼・小のつながりを確認し、保育園や幼稚園から小学校に入学するにあたって情報交換をする際、また、就学支援シートを作成するための基礎資料として活用してください。
- ・接続期の子供を抱える保護者の方と話し合う際に活用してください。

## 保・幼・小接続カリキュラム検討委員名簿

所属名及び役職名	氏名
東京成徳短期大学教授	和田 信行
学校法人内野学園清瀬ゆりかご幼稚園理事長	内野 光裕
社会福祉法人のゆり会のしお保育園副園長	白石 珠子
子育て支援課 第6保育園副園長	金子 眞弓
清瀬市立清瀬第四小学校長	佐藤 伸彦
清瀬市立清瀬小学校副校長	岩崎 吉伸
清瀬市立清明小学校主任教諭	西山 理紗
清瀬市立清瀬第七小学校教諭	山本 昌子
清瀬市立清瀬第八小学校養護教諭	村山 悦子
東京都立清瀬特別支援学校教諭	上野 晋平
子育て支援課 保育・幼稚園係主任	中野 陽子
清瀬市教育委員会就学相談員	佐藤 正一
清瀬市教育委員会就学相談員	佐藤 和寛
清瀬市教育相談センター教育相談班主任	清水 勇

委員長 和田 信行 (敬称略)  
副委員長 内野 光裕 佐藤 伸彦